

2021年度量子ビームサイエンスフェスタ

ユーザーからの要望

2021年度MLFユーザアンケート
のコメントから

2022年3月

MLF利用者懇談会

アンケート概要

- 実施方法
Googleフォームを利用
- 実施期間
2022/01/04 ～ 2022/01/31
- アンケート対象者（2021年1月～12月までのMLF利用者）
1034名（昨年：1331名）
- 回答者数
日本語画面：119名、英語画面：27名 計：146名
（昨年 日本語画面：131名、英語画面：49名 計：180名）
- 回答率
14.1%（昨年：13.5%）

1. 課題申請

- 1-1) Ease of proposal process 課題申請手続きの簡潔性について
- 1-2) Efficiency of scheduling time 課題申請手続きのスケジュールについて
- 1-3) Fairness of proposal process 課題申請手続きの公正性について

2. 安全教育

- 2-1) Effectiveness of computer based training コンピュータを用いた教育効果について
- 2-2) Appropriateness of the contents regarding safety education 安全教育のコンテンツについて

3. 支援施設

- 3-1) User laboratory facilities ユーザーラボ実験室について
- 3-2) Tools and supplies in user labs ユーザーラボの機器や供給品について
- 3-3) Computers/network access for visitors ビジター向けのコンピュータ／ネットワークアクセスについて
- 3-4) User Rooms ユーザー控室について
- 3-5) Break/snack room 休憩室/軽食コーナーについて
- 3-6) Accommodation 宿泊施設について
- 3-7) MLF operation status information 運転状況について

4. 試料環境

- 4-1) Variety of sample environments 利用できる試料環境について
- 4-2) Support from sample environment personnel 試料環境のサポートについて
- 4-3) Quality and reliability of the equipment 機器・設備の質と信頼性について

5. 装置の性能

- 5-1) Support from J-PARC Staff スタッフからのサポートについて
- 5-2) Hardware reliability and performance ハードウェアの信頼性と性能について
- 5-3) Data acquisition/instrument control software データ取得／装置制御のソフトウェアについて

6. ソフトウェア(データ解析ソフトウェア)

- 6-1) Quality of Software ソフトウェアの質のサポートについて
- 6-2) Range of capabilities ソフトウェアの性能範囲について
- 6-3) Assistance from J-PARC staff スタッフからのサポートについて
- 6-4) Remote access to software ソフトウェアへのリモートアクセスについて

7. Free Comment Area その他コメント

課題申請手続のスケジュールと公正性

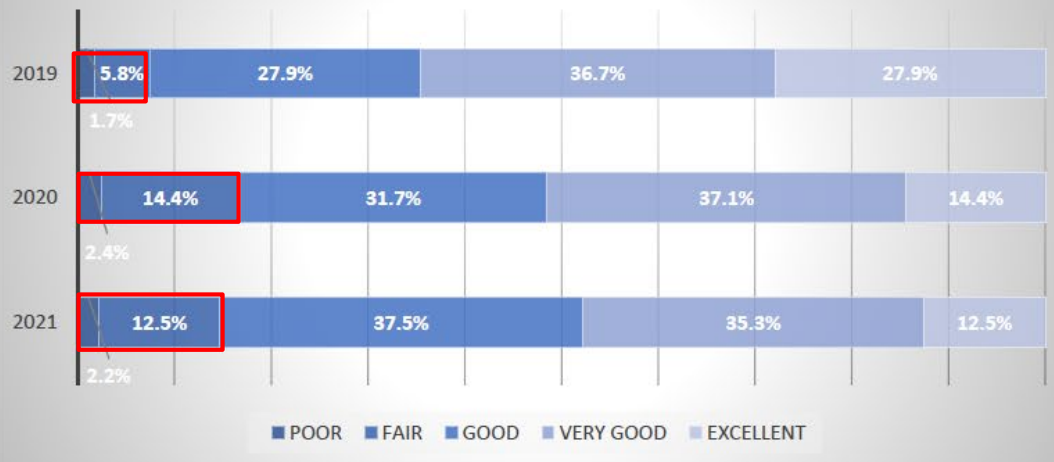
1-1) 課題申請手続きの簡潔性について



1-2) 課題申請手続きのスケジュールについて



1-3) 課題申請手続きの公正性について



PoorとFairの回答が一定数存在

要望1

課題申請手続のスケジュールと公正性

ユーザーへの丁寧な説明が必要

具体的なコメント例

- ・ 審査が遅い
- ・ 審査後にマシンタイムの日程が決定するのが遅すぎる。
- ・ 予定伺いからビームタイム決定までの待ち時間が長く(1ヶ月～)、本務やプライベートの予定調整に支障をきたします。
- ・ 課題審査を担当したレフリー次第で課題の評価が大きく左右される印象です。低評価で不採択となった申請書を、同内容で次の期に申請したら高評価となり採択されました。また、レフリーの殆どから高評価で実施すべきとコメントを頂いても、誰か一人が低い点数をつけると不採択になる印象です。
- ・ 書面審査の審査員の評点にバラツキが多すぎる。書面審査のみの審査員が評価する提案数は数件程度なので、バラツキが多いのも当然である。覆面審査員による書面審査を止め、PAC委員が全提案を審査（書面審査＋合議審査）するのが望ましい。
- ・ 選定手続きの公正性は他の加速器施設と大きな隔たりが無いと信じている。但し、施設の都合で大幅に運転時間が削られるなど、採択課題に明らかな影響がある施設の状況に関しては、課題採択の公正性を示す観点からも、ユーザーに対してきちんとした情報発信が必要であると思われる。

支援施設

3-1) ユーザーラボ実験室について



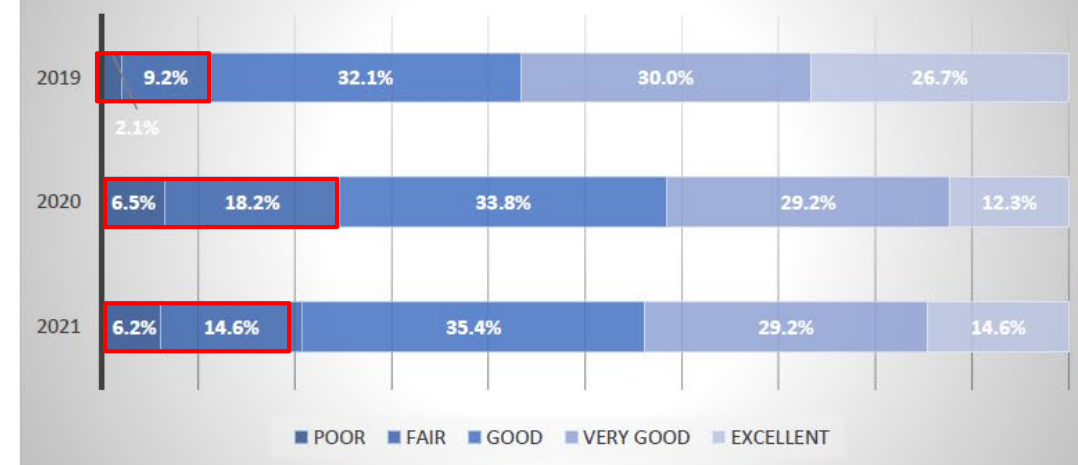
3-2) ユーザーラボの機器や供給品について



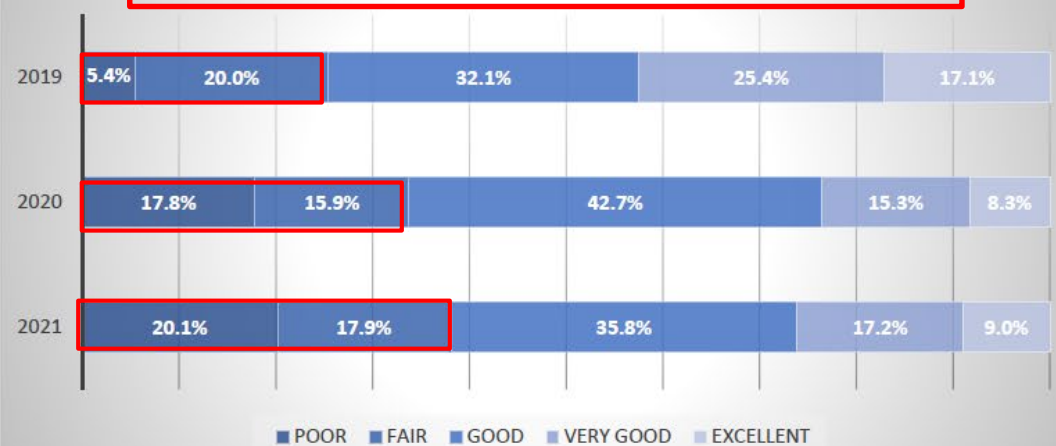
3-3) ビジター向けのコンピュータ/ネットワークアクセスについて



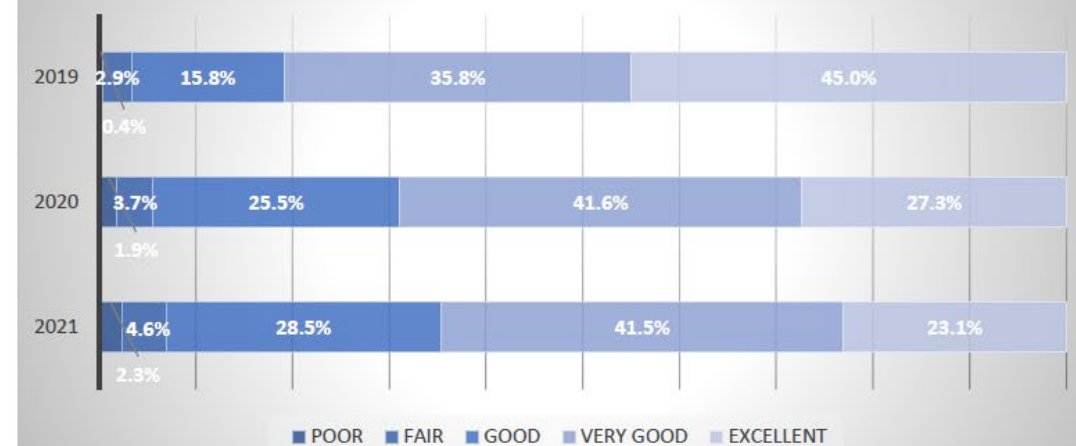
3-4) ユーザー控室について



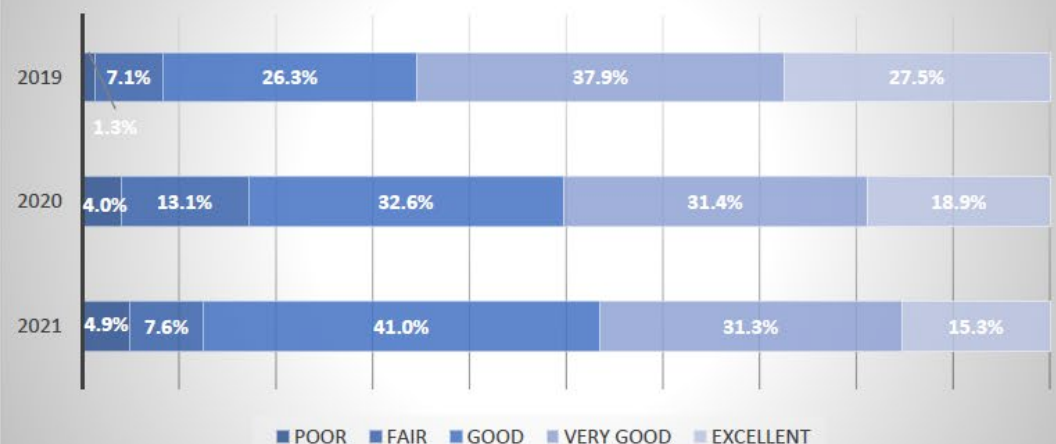
3-5) 休憩室/軽食コーナーについて



3-6) 宿泊施設について



3-7) 運転状況について



ネットワークアクセス、ユーザー控室、休憩室/軽食コーナーに関してPoorとFairの回答が一定数存在

要望2

ネットワークアクセス

データへのリモートアクセスの要望あり
WiFiがつながりにくいとの指摘あり

具体的なコメント例

- ・ 宿泊施設からビームラインの実験データにアクセスできるようになると嬉しいです。
- ・ 所属機関に持ち帰るのが難しい程度に大きなデータ量になるので、所属機関から施設へのアクセスや解析のためだけの施設への来所時の対応を検討して欲しい。ユーザー運転中は現時点ではアクセスがビームラインにあるデータへのアクセスが難しいと理解している。
- ・ **J-PARC**を離れてもインターネット経由で実験データや空蟬にアクセスできると嬉しい
- ・ ネットワークが繋がらなかったことがあり、その時は別のネットワークに繋げさせていただいた。
- ・ **MLF**内やドミトリリーにおいて**wifi**の電波が弱い箇所が多いので、検査してほしい。
- ・ **Poor connectivity of Wifi for user-own laptop.**
- ・ 施設外から実験装置へのアクセスについてはトラブル対応などを考えると一朝一夕には難しいと思うが、ユーザーとしてはコロナ禍の状況もあって希望したい。また、コロナ禍の状況にあるかないかに関わらず、施設外からのデータのアクセスについては検討していただきたい。

要望3

ユーザー控室、休憩室、軽食コーナー

食・住環境の向上が必要

具体的なコメント例

- ・昼食時、売店はすぐ弁当類の商品がなくなり、開いている時間も短いので、ほとんど役に立たない。もっと長時間営業し、品数・種類を増やして対応してほしい。
- ・品数が少なく、ちょっと昼の時間を過ぎるとほとんど選択肢がない。
- ・water coolerがあれば助かります。
- ・We couldn't locate hot water dispenser/kettle on Sunday
- ・No hot water in midnight
- ・施設の立地やユーザー数を考えると厳しい状況は理解できる。しかしながら、移動の手段が限られるユーザー（全員が自家用車やレンタカーで実験に来ているわけではない状況）を考えると、十分とは言えない。

試料環境

4-1) 利用できる試料環境について



4-2) 試料環境のサポートについて



4-3) 機器・設備の質と信頼性について



おおむね好評価だが・・・

要望4

試料環境

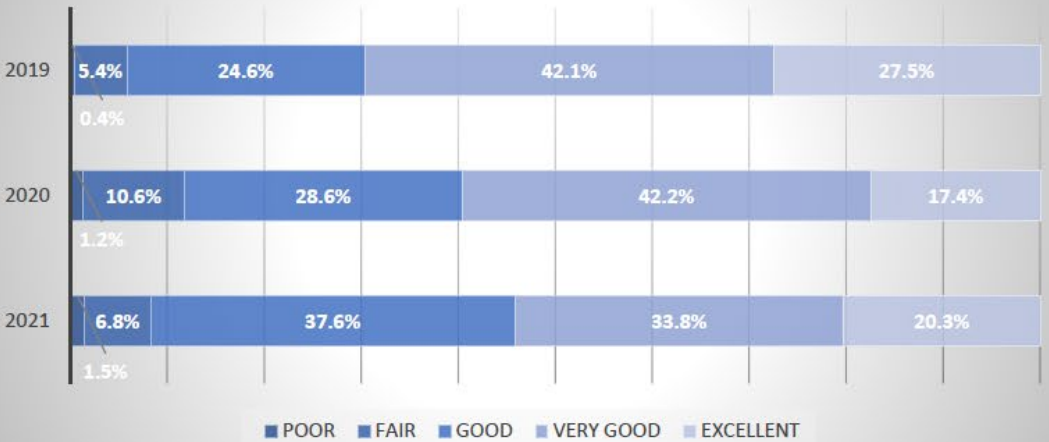
試料環境機器・偏極ビームラインの充実

具体的なコメント例

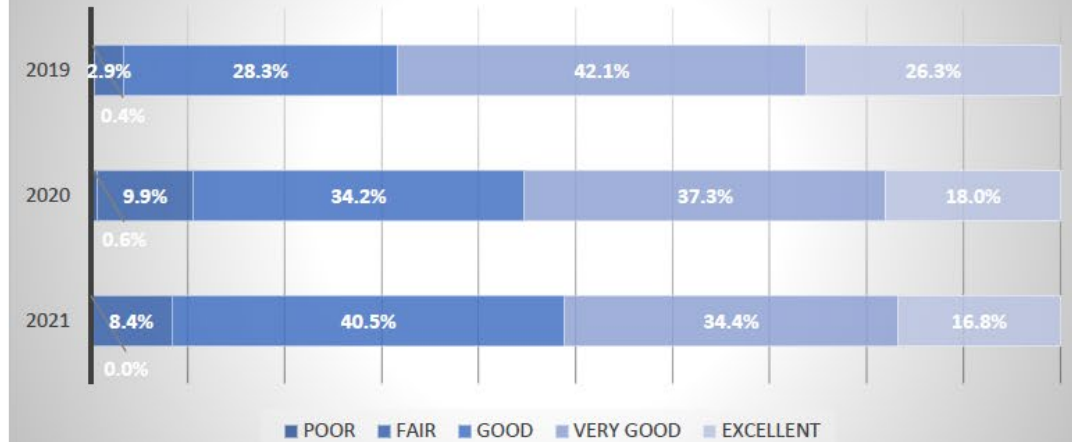
- 超高圧や高温環境は他施設に比べて見劣りする。
- more polarized beam capability on more instruments using polarized ^3He !
- high temperature cryostat and low temperature cryostat are needed.

ソフトウェア

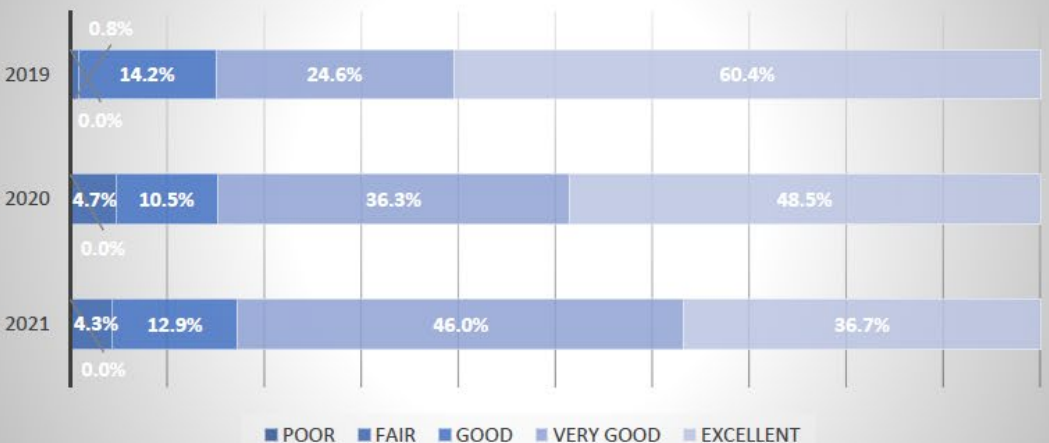
6-1) ソフトウェアの質のサポートについて



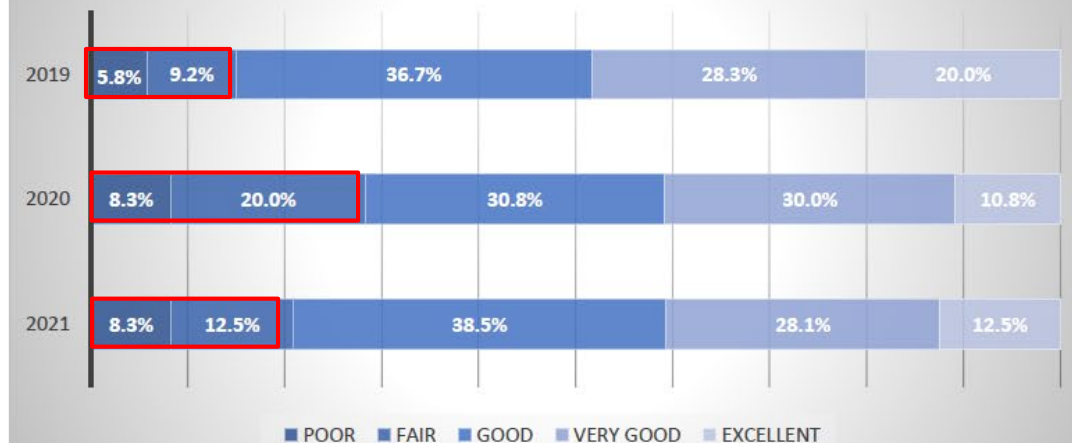
6-2) ソフトウェアの性能範囲について



6-3) スタッフからのサポートについて



6-4) ソフトウェアへのリモートアクセスについて



ソフトウェアへのリモートアクセスにPoorとFairの回答が一定数ある

要望5

ソフトウェア

試料環境機器・偏極ビームラインの充実

具体的なコメント例

- ・実験進捗を外部よりモニターできるとありがたいです。

MLF利用懇幹事の声

課題申請手続きのスケジュールについては、施設側は最善を尽くしているはずですが、それがユーザーには伝わっていないように思います。ユーザーへの丁寧な説明が必要だと思います。

スケジュールだけではなく、公正性についても、ユーザーへの丁寧な説明が必要のように思います。

例年に比べて、全体的にコメント数が減っている。コロナ禍の影響なのか、問題が解決されてきていると見るべきか、アンケートに回答しても改善がないとの諦めなのか、よく見極める必要があるように思う。

サイエンスフェスタでの施設側からの回答をユーザーにも見えやすい形どこかに掲載したほうがいいかと思います。

レフェリーの点数についてはコメントをちゃんと吟味して妥当かどうかを判断していることをユーザーに伝えるべきだと思います。不当に低い点数はそのまま採用はしていないということを、です。外部からのリモートアクセスについては根強い要望です。本当にJ-PARCは諸外国の施設と比べてリモートアクセスが悪いのか、示した方がいいと思いました。

リモート実験はコロナ禍にあっては必ず必要であり、(やり方によっては)同時にスタッフの負担軽減にもつながるのではないかと期待しています。利用懇としてもユーザーとスタッフ両者にとってプラスになる形で実現してもらうようにサポートできればと思います。